福井県越前市
坂口

夢navi さかのくち

あなたと私の心の通信

秋号 vol.90（通算107号） 令和４年11月15日

菊芋

メンマ作り

味噌作り

里山工房“さかのくち”は８名のおねーさんで仕事をしています。

冬（1～2月）の味噌・麹等の加工の他、暮にはお正月用の餅作りやお弁当屋として販売を行っています。特に味噌は『みそらちゃん』ブランドで２トン／年ほど加工・販売しています。無添加の健康食品として販売しており、味も好評を得ております。ぜひ味わってください。

お弁当屋はコロナ禍で注文が半減しましたが、地元の食材を活かしメンバーで相談して献立を決めており、お客様の「美味しい」のひとことが頑張る力になっています。

今年は新たに、ビジネスセンターから指導を受けながらの“菊芋栽培”、舞鶴で研修をした“メンマ作り”、そしてそれら食材を活かして料理を作っています。

独り立ちにはなかなか大変な状況ですが、みんなでわいわいがやがや楽しく頑張っています。

興味のある方、または料理好きなあなた、是非仲間になって一緒に活動してみませんか。

藤木 好美（下中津原町）

交流部会　8月14日(日)

おかえりなさい 納涼祭

今年度は抽選会とテイクアウトでの販売、夏のクイズラリーの他に“じゃんけん大会”を企画・開催しました。
特に盛り上がったのは“じゃんけん大会”。豪華賞品の獲得を目指して大人も子どもも熱が入り、歓声が上がるなどにぎやかな納涼祭になりました。
地域の方たちと笑顔で交流の輪をひろげた納涼祭。
来年もまたみんなで集まりましょう。

区長会　9月11日(日)

令和４年度 戦没者追悼式

新型コロナ感染防止のため今年度も規模を縮小し各区長と遺族会で式典を行いました。
参列者全員で献花を行い、戦没者のご冥福と恒久の平和を祈りました。
戦後 77 年を迎え尊い犠牲のもと平和と繁栄を享受していますが、その一方で未だ紛争が絶えず多くの命が失われています。
戦争の悲惨さを風化させることなく次の世代に語りついでいくために追悼式を継続していきたいと思います。

環境部会　馬借街道・矢良巣岳整備事業　9月25日(日)

今年度２回目の地区整備事業が 34 名の方にご協力いただき無事に終了しました。
環境部員は学校田んぼの稲架づくりとハッピー山・ビオトープの草刈りを、各町内から来ていただいた方には馬借街道と矢良巣岳の整備をしていただきました。
この夏は何度か集中豪雨に見舞われ、林道の状況を心配しましたが、「倒木があるかと思っていたがなかったので、作業も楽だったよ」と酷い状態ではなかったようで安心いたしました。
ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。

コウノトリが舞い降りる田んぼづくり

10 月 7 日（金）に予定していた小学校と環境部会の協働事業「コウノトリが舞い降りる田んぼづくり」の稲刈りが、雨のため順延になりました。今後の作業については部員で相談しながら進めていきます。
毎年、天気に左右されながらの田んぼづくりは、残念ながら今年も収穫量は少なくなりそうです。収穫量を上げるためにも除草対策などに力を入れて取り組んでいきたいと思います。
収穫したもち米は、餅つき交流会やかき餅づくり体験などに活用します。

福祉部会　9月18日(日)

敬老会

めでたく米寿を迎えられた方を含め、30 名の方々が出席されました。

最初に、山岡振興会会長より、四本木久雄様と向井和三郎様に祝米寿の賞状と記念品が授与され、その後、「葵亭真月氏」の落語で楽しい時間を過ごしました。集い・笑う事は元気の源です。

ますますの健康長寿をお祈りいたします。

向井和三郎さん（勾当原町）

四本木久雄さん（中津原町）

加藤　良久さん（湯谷町）

中野花枝さん(代理)（湯谷町）

いきいきふれあいのつどい 代表者会議

8月4日(木)

認知症サポーター養成講座

10月8日(土)

認知症について理解を深め、認知症の方に優しい地域づくりのため、養成講座を開催しました。認知症についての講義後、２グループに分かれ話し合いました。

事例に対して、「どう対応したらいいのか」を話し合うことで、認知症について理解を深めることが出来ました。

坂口地区スポーツ協会　8月14日(日)

2022 夏季スポーツ大会

エコビレッジ交流センター大ホールで、夏季スポーツ大会を開催しました。今年は感染対策として納涼祭との動線を別にすることで、同日開催をすることができました。

柔らかい布のボールを得点が書かれた的に投げて高得点を狙う「ターゲットゲーム」と、パラリンピック種目である「ボッチャ」を体験しました。どちらも年齢を問わず、だれでも参加できるゲームで、たくさんの方が楽しまれました。

ターゲットゲームの上位入賞者は次の方々です。おめでとうございました。

①	向井　一弘さん	（勾当原町）
②	坂井　のあさん	（中津原町）
③	谷橋　彩羽さん	（中津原町）

里山ウォーク　10月16日(日)

秋晴れの 10 月第３日曜日に、地区内外 40 名ほどの参加者が健脚コースとのんびりコースに分かれて、健康ウォークを行いました。

のんびりコースは坂口地区に訪れた秋を感じながら散策し、健脚コースは鳥の鳴き声や、どんぐりの落ちる音に耳を傾けながら大坂山の山頂を目指しました。

山頂からは市街地を眺めることができ、荒島岳や白山といった百名山の眺望はとてもきれいでした。また、ウォーキング後に食べた坂口産の新米おにぎりは絶品でした。

サポートさかぐち

10月から第２・第４木曜日の月２回走ります

買い物に困っていませんか？

『さかのくち買い物号』

『さかのくち買い物号』は、お迎えお送りは自宅までなので、ちょっと大きな荷物、重い荷物も安心です。利用する場合は、事前の利用者登録が必要です。利用ご希望の方、詳しく知りたい方はお気軽にお問合せください。

【お問合せ・お申込み・相談先】
サポートさかぐち　☎090-8990-4458
坂口公民館　☎0778-28-1046

今後の運行予定
- 11月24日(木)
- 12月 8日(木)
- 12月22日(木)
- 1月12日(木)
- 1月26日(木)
- 2月 9日(木)

さかのくち活性化協議会だより

SAKAGUCHI
さかぐち

最近は私服なのね

平成28年度から令和2年度まで「農山漁村交付金事業」として活動し、令和3年度からは自立した団体として活動を続けています。

この期間、開発したスィーツの予約販売を行ったり、「グリーンツーリズム インストラクター」として団体受入も行っています。4月と8月には、教育旅行として大阪府からの高校生をそれぞれ約30人を受け入れました。

生きものとあまり関わりのない学生たちに、コウノトリと共生する里づくりの話は理解していただいたのか不安ですが、坂口地区を知る良い機会となったのではと思います。

たくさんの生きものと共生する里山を推進する坂口として、まだまだ多くの課題があります。一つひとつ解決しながら取り組んでいきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

今年度もドジョウを使って
10月1日（土）『どじょうすくいとどじょうピザづくり』、
10月8日（土）『第1回坂口どじょうレストラン』を
開催しました。

『第2回 坂口どじょうレストラン』11月19日（土）開催

シリーズ 坂口ことば

連載 その68

触覚に関する方言　その2

触覚に関する方言の2回目は共通語の「重い・軽い」にあたる言い方から見ていくことにします。「重い」は今だと共通語と同じオモイ、あるいはオモタイかオモテーになると思いますが、以前はオモタイのモが音声的に近いボに変化したオボタイ、そしてオボタイのタイが嶺北方言の［ai］が［eː］となる特徴で変化したオボテーが使われていました。「軽い」は方言でもカルイです。

次に共通語の「ねばっこい・ねちゃねちゃ」あたる方言です。例えば「納豆ぁネバッテ、ニチャニチャしる」のように、「ねばっこい」はネバルの動詞形で表現し、「ねちゃねちゃ」は似た発音のニチャニチャと言います。松脂（やに）や糊・接着剤のようなものに指が触れた感覚もニチャニチャです。触覚の方言は次回に続けます。

（加藤和夫
金沢大学名誉教授）

えこぴれ diary

生き物観察会 出前講座　7月31日（日）

王子保地区自治振興会と王子保公民館の依頼を受け、出前講座で松ヶ鼻園地での生き物観察会に行きました。

2年連続坂口で営巣した「ななちゃん」は最初大塩町の人口巣塔で産卵し孵化直前にカラスに狙われたこと、次の年は坂井市で営巣したこと、そして昨年誕生したヒナ3羽のうち1羽の名前は王子保地区の方が名付けたこと等、観察会後に話しました。

こうした講座が王子保地区でのコウノトリを育む取り組みが広がるきっかけとなっていくことを願っています。

川にはどんな生きものがいるかな

川へGo！

草木染め体験　9月22日（木）

どんな模様にしようかな

草木染の体験に西幼稚園の子ども達がやって来ました。

世界に1枚だけのハンカチ

自分達で集めた落ち葉や松ぼっくりを使って染めていくのを見て、どんな色になるのだろうと興味津々。

煮汁からは、桜の葉の甘い香りや松ぼっくりの山を連想させるような匂いが部屋中に広がり、ますます出来上がりが楽しみになりました。

染め上がった自分だけのハンカチを手にして大喜びの子ども達。宝物として大事に使ってくれたら嬉しいです。

時空を超えて

58年前の絵との対話

公式 facebook

昨年の展覧会で展示できなかった版画と小作品約140点、昨年の展覧会で好評だった作品約40点の展覧会を開催しました。22日間という短期間にもかかわらず300人近くの方にご来場いただきました。

●ふるさとを考えるつどい（8月6日）

発見された絵の価値と地域資源としての活用方策を地区の皆様と考えることを目的に公民館と共催しました。

地元に常設展示コーナーの開設、坂口発の児童画展の開催、絵をハガキやタイルに、今の子供たちとの比較展示、などが提案されました。

これらの絵を活性化につなげるためには、我々住民が絵を活かす努力が重要だという意見などが出されました。

●エピソード（8月23日）

チラシと公式Tシャツに採用されたお父さんの作品と記念撮影（小泉家）

案内状を手にどうしても行かなくては、と思い切って京都からはるばるこられた作者の和田（旧姓岸下）さん。会場で亡き妹の版画に対面。自分の作品と鯖江に住む姪に妹の作品のTシャツを注文されました。

愛知県にお住まいの作者の植田（旧姓仁木）さん。どうしようか迷っていたが、最終日の朝、一念発起、行くことを決心。70歳過ぎてもはつらつ。なんとトレイルランナーとのこと。坂口時代から走るのは得意だった、府中馬借街道トレイルランに是非とも参加したい！とのこと。

もう一枚の作品について語る植田（旧姓仁木さん）

●児童画専門家シンポジウム（8月21日）

県外から「創造美育運動」に詳しい専門家をお迎えし、元美術教師朝倉俊輔さんの進行で、「58年前の絵が問いかけるもの」と題して意見交換がなされました。

高度経済成長期以降、日本の義務教育での美術は評価しやすい写実的なものが評価されるようになってしまったが、今ではかろうじて一部の保育園、幼稚園で創造美育が実践されている程度である。

木水先生の6つの美術教育の方法論、「雰囲気作り」、「材料は豊富に」、「ほめて励ます」、「子どものペースを尊重する」などは、現代の人材育成に十分通ずるものである、などの意見がだされ、次世代を担う子どもたちが、自由で本当に生き生きとした人となるよう、連携して頑張っていこう、と締めくくられました。

（時空を超えて　実行委員会）

左から、朝倉氏（元美術教諭）・鈴石氏（CCAA代表）・穴澤氏（元、『美育文化』編集長）・遠藤氏（県 Art Project Adviser）

夏のわくわく
チャレンジ教室

坂口公民館より

子ども達のわくわくを引き出すチャレンジ教室。
今年の夏も子どもたちが様々な体験にチャレンジしました。

じっくり
焼いていくよ

キッズキッチン①
8/18（木）
米粉カステラづくり
講師：田中 滋子氏
（ロハス越前）

キッズキッチン② 8/19（金）
三色おとうふだんご・紫蘇ジュース
アドバイザー：遠藤 良美さん・小柳 千鶴子さん

出来上がりに
大満足！

SONY・放課後 NPO アフタースクール
感動体験プログラム 9/3（土）

耳をすまして
自然の不思議と音を
さがそう

村田気象予報士の
お天気防災教室
8/30（火）
講師：村田 光広氏

一瞬で雲をつくる
実験に驚きました

科学実験教室（あっと・ざ・サイエンス）
-196℃の世界＆紫外線ビーズストラップ
9/10（土）

好きなビーズ
を選んで…

バナナで
実験！

移動支援検討会
認定運転者講習会

10月22日（土）

国土交通省認定の「移動・送迎サービス運転協力者講習会」を開催しました。講習会には 12 名が参加し、坂口地区での「移動手段の確保」に向け、安全で安心な移動・送迎サービスが提供できるよう、熱心に受講しました。

車両に移動するときは注意して！

車椅子に乗って体験します

うららの歴史 中津原町

明治36年福井市での火災時に義援金として出された文書です。差出人の南條快平（かいこ）氏は道端正樹家（下中津原町）より明治初期に少林寺に小僧として入り、南條方丈（ほうじょう）少林寺住職となりました。その後は米原市総寧寺（そうねいじ）の住職をしており、現在は寺孫が住職となっています。
（四本木久雄氏、山本勲氏より）
今も昔も災害等あれば助け合い行動することが大切であると教えられた書状です。

南條郡坂口村
有志者九名総代
南條快平
金五圓
明治三十五年三月縣下福井市火災
ノ際罹災者救助トシテ頭書ノ通差出候
段奇特ニ候事
明治三十六年八月五日
福井縣知事正五位勲四等阪本釤之助

横断中

夕方見守り運動に ご協力お願いします！

子どもへの声かけ事案等が発生しやすい夕方に、大人が声をかけ合って、屋外で作業する、散歩することなどを心がけ、地域ぐるみで子どもの安全を見守り育てる「夕方見守り運動」にご協力をお願いします。

交通安全茶屋開催

交通安全協会 坂口分団　7月29日（金）

ドライバーに対して交通安全を呼びかける交通安全茶屋を午後5時から6時まで実施しました。

昨年同様に用意した冷たい飲料とチラシを、道行くドライバーに「安全運転を心掛けてください」と声をかけながら手渡しました。

今年は、越前警察署より林署長と交通課長、そして白山駐在所松木巡査長に応援に来て頂き、交通安全協会理事と母の会のメンバー8人で行いました。

警察官が居るということで驚いて停まってしまうドライバーもいましたが、チラシ等を受け取ったほとんどの方に喜んでもらい良かったと思いました。

猛暑と新型コロナウイルス感染の対策を行いながらの今年の交通安全茶屋でした。来年以降も対策を行いながら開催していきたいと思います。

うららの町から

中津原町

40年以上たち劣化した“さるぼぼ”。地元の有志が一人でも多くの方が幸せになるようにとの願いを込めて4月から月に1回集まり、時には持ち帰りながらひとつひとつ手作りし、このほど4体の“さるぼぼ”が完成しました。

8月2日（日）にはご祈祷を、10月10日（月・祝）には秋の祭礼でのぼりにつるしお披露目をいたしました。

今後も病や災いを除けるお守りとして大事に受け継がれていくことを願っています。

いきいき学ぶ会　8月6日（土）

第10回 ふるさとを考えるつどい 開催

「“58年前の絵”から何を学び、坂口の活性化にどう活かすのか」をテーマに地区住民約30名が参加しつどいを開催しました。住民代表3名、学校関係代表、作者代表、そして時空を超えて実行委員代表計6名の方がパネラーとしてそれぞれの立場から当時の生活や家族関係、坂口の風景や環境、教育について話していただきました。

お話後に、展覧会を通じて繋がった方々との交流を展開・発展し、活性化につなげるために今後どう取り組んでいくべきかの意見交換が行われました。

あらためて、家族関係や人間関係など地区住民がつながりを再構築し、それを土台に“絵”を活かした取り組みを進めていくことが必要ではないかとの意見がありました。

今後も地域課題解決に向けて取り組みを進めていきたいと思います。

思い出のアルバム

昭和27年　下中津原町青年会の秋祭礼での獅子舞中の記念撮影です。当時の会員の活動の様子がとても微笑ましいです。

一般社団法人 ネットワークさかのくち

北陸新幹線計画が上がり、トンネル工事等からでるズリ石を利用して中津原町水田整備事業計画を町内全員の同意を得て、役員・市会議員にて大阪鉄道開発機構大阪支社に陳情、国会議員陳情、県・市関係課書類提出を経て中津原圃場整備事業がスタートしました。

令和４年５月、「ネットワークさかのくち」組織ができ、９月には農作業部会が立ち上がり、続いて耕作部門、乾燥部門、水・電気部門を全員参加型農事ファームとして活動いたします。

坂口地区内では現在育苗センターでの参加ですが、最終的には坂口全体を「ネットワークさかのくち」の組織に入っていただき、全員出動体制にて明るい坂口地区になればと願っています。

山田越前市長視察

杉本福井県知事視察

県公民館広報紙コンクール優秀賞

広報「夢 navi さかのくち」が福井県公民館広報紙コンクールにおいて『優秀賞』を頂きました。

坂口の“今”をお届けしている広報紙は、坂口の魅力や特色ある取り組みを掲載するなど地域に密着した内容が評価いただけたようです。これを励みに、広報委員一同今後も魅力あふれる広報紙を作り続けていきます。

福井新聞社特別賞！ 受賞

賞状

特別賞

越前市 坂口公民館様

貴公民館は福井県公民館広報紙コンクールにおいて頭書の輝かしい成果を収められましたので下ここにその栄誉を讃え表彰します

令和四年十月十九日

福井新聞社

吉田真士

夢一輪

この夏、坂口小学校の子供達にもらった朝顔の種をプランターにまきました。今日は何個咲いたかなと、毎朝の水やりもとても楽しみで、まるで子供の成長を見守る親のような想いでした。そして、その花の美しい姿に、今日も一日がんばろうと元気をもらいました。夏も終わり、たくさんの種と思い出を残してくれた朝顔たち。また来年の夏も我が家のプランターでたくさん咲いてほしいです。　(M.S)

白山駐在所からのお知らせ

防犯カメラの設置に協力を

近年、空き家や子供を狙った誘拐などの犯罪が発生しています。子供や家族、地域の安全を守るため、防犯カメラを設置しませんか。

効果

- 効果1　犯罪抑止
- 効果2　事件・事故の発生時の状況を記録できる
- 効果3　見守活動の手助け

カメラは高画質、夜間撮影可の機種がオススメです。設置費用は設置場所により異なります。設置の際は、家屋等にあった防犯カメラや、設置場所についてアドバイスしますので、ご相談ください。

越前警察署　☎0778-24-0110

坂口地区の現状
現在387人　134世帯（10月1日現在）
昨年390人　134世帯
購読会員31名（11月１日現在）

原稿やメール投稿はこちらからどうぞ♪

【発 行】坂口地区うららの町づくり振興会
坂口公民館
【編 集】さかのくち広報委員会
〒915-1225 越前市湯谷町24-18-1
坂口公民館内
TEL・FAX：0778(28)1046
【E-mail】振興会：urara1046@gmail.com
公民館：sakaguchi_ko@city.echizen.lg.jp
【印 刷】㈲ワープロセンターホープ

11～２月 坂口公民館・エコビレッジ交流センター行事予定

11月20日（日）	防災学習
11月22日（火）	健康体操②
11月26日（土）	きれいに撮ろう里山風景
12月４日（日）	親子クリスマス会
12月15日（木）	配食サービス③
12月18日（日）	しめ飾りをつくりましょう（午前・午後の部2回開催）
12月24日（土）	新年を手作りで迎えましょう
1月15日（日）	冬遊まつり・冬季スポーツ大会
1月21日（土）	里やまカフェ
1月28日（土）	里山の冬を見つけよう
1月29日（日）	放課後子ども教室 キッズキッチン
2月４日（土）	かき餅をつくろう
2月18日（土）	里山カフェ
2月19日（日）	ふるさとを考えるつどい

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止・変更の場合があります。